

親子で歩いて知った! 湯殿山「ここがすごい」



す。

岡市立朝陽三小5年)

湯殿山丑歳御縁年

出羽三山は、古くから、山岳信仰の靈場として栄えていました。羽黒山は「現在の山」、月山は「過去の山」、湯殿山は「未来的な山」と見たており、三つの山をめぐる「生まれかわりの旅」はたくさんのさんばいしやを集めました。中でも、湯殿山は奥の院としで、もうとも重要な場所とされており、あつく信仰されています。(菅原伸太記者 鶴岡市立朝陽三小5年)

酒井家庄内入部400年とは

「徳川四天王」の筆頭・酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家。1622年、酒井家3代忠勝が庄内に入部してから来年で400年の節目を迎えます。鶴岡・庄内では、プレ年にあたる今年から、「400年から学ぶ庄内 みんなでつなごう将来」をテーマに地域の歴史や文化の学びを深める事業を企画しています。

- 「記者のお仕事」講座
講師／山形新聞鶴岡支社・保科裕之支社長
湯殿山へ移動
- 湯殿山の歴史や文化、酒井家との関わりなど
講師／出羽三山歴史博物館 渡部幸学芸員
- 本宮へ登坂(徒歩で約30分)
- 本宮を参拝
- 精進料理の昼食
- 記事を執筆
- 終了
- お疲れさまでした!
- 「記者のお仕事」講座
講師／山形新聞鶴岡支社・保科裕之支社長
湯殿山へ移動
- 湯殿山の歴史や文化、酒井家との関わりなど
講師／出羽三山歴史博物館 渡部幸学芸員
- 本宮へ登坂(徒歩で約30分)
- 本宮を参拝
- 精進料理の昼食
- 記事を執筆
- 終了
- お疲れさまでした!



400年から学ぶ庄内

みんなでつなごう将来

酒井家庄内入部400年記念事業

よりよい未来への橋のぎない礎を築く



社会人サッカーチーム
FOSEIHO 活動中!
SEIHO FOOTBALL CLUB



暮らしに寄り添う

庄内銀行

丑歳御縁年クッキー



発売元：出羽三山神社

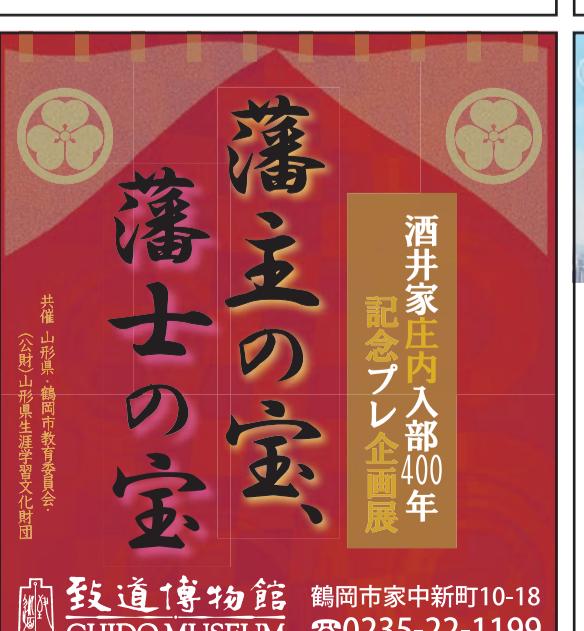
[お問い合わせ先] フリーダイヤル 0800-800-4130

製造元：出羽菓子処 みのりや

鶴岡市宝田3丁目9-22 ☎ (0235) 28-3014



出羽三山 丑歳御縁年奉祝行事
= Celebration event =
出羽三山 丑の日参り(縁起くの歳、丑の日限定の御守、御朱印を頒布)
(湯殿山は11月1日迄、羽黒山は12月31日迄)
~11月23日 火防神牛
~11月3日 御開祖
特別参拝
御澤仏
蜂子皇子
特別参拝
遠野市善明寺
天保社
御沢仏特別参拝との共通券800円
【参拝料】一般(中学生以上)500円、小学生以下無料
出羽三山歴史博物館1階
舞子皇子特別参拝との共通券800円
【参拝料】一般(中学生以上)500円、小学生以下無料
天保社
御沢仏特別参拝との共通券800円



子ども記者プロジェクト

次回予告

今年で開創150年を迎えた松ヶ岡開墾場を舞台に実施いたします。参加の募集要項は詳細が決まり次第、本紙でお知らせします。



酒井家庄内入部400年新聞

酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会



子ども記者がリポート

来年は、庄内地方に酒井家が入部してから400年。そのプレ記念事業として「子ども記者プロジェクト」が7月31日に行われました。テーマは「庄内藩領として酒井家に守られた湯殿山」。庄内地方の7組の親子が湯殿山の歴史や文化について学び、「子ども記者」たちがそれぞれの発見を記事にまとめました。

神の場所「湯殿山」

湯殿山は未来を表す山で、そのため人間が手を加えていない最も重要なご神体は岩で熱い湯がわいていて、生まれかわりのしようちようとして人気が高い。ご神体は「語るなかけ聞くなか」

湯殿山には即身仏が多い。一世行人が自分の体を半永久的に残して、万民を救済しようとする願いが具体化したもの。みんなの幸せを願っていると思うと感動する。(佐藤慈暁記者 鶴岡市立朝陽一小5年)

湯殿山には多くの山岳信仰のれい場として保護し、湯殿山で修行する人を見張りの役目にするなど大ききょう味深い。それ意外に

も領民の山岳信仰のれい場として厚く保護したのではないだろか。

湯殿山には即身仏が多い。

一世行人が自分の体を半永久

的に残して、万民を救済しよ

うとする願いが具体化したも

の。みんなの幸せを願っている

と思ふと感動する。(佐藤慈

暁記者 鶴岡市立朝陽一小5年)

ご神体は自然そのもの

「語るなか聞くな」は言えませんが、一言で言うなら「岩」です。あとは自分の目で確かめてみてください。

湯殿山は現ねん、この年にさんぱいすると12年分のぎりやくがあると

ねん、この年にさんぱいする

と12年分のぎりやくがあると

ねん、この年にさんぱいする

私が見つけた湯殿山の「すごい」
ところを三つしゃういます。
一つ目は、出羽三山には現在

あることで、二つ目は、湯殿山を守った人たちです。湯殿山で修行する人を見張り役でした。

三つ目は、湯殿山は「未米」です。三つの山をめぐると、生きている間に新したましいとして生まれかわることができます。
生まれかわることができると言われています。

特に今年はうしじこえんねん、この年にさんぱいする

と12年分のぎりやくがあると

ねん、この年にさんぱいする

と12年分のぎりやくがあると

ねん、この年にさんぱいする